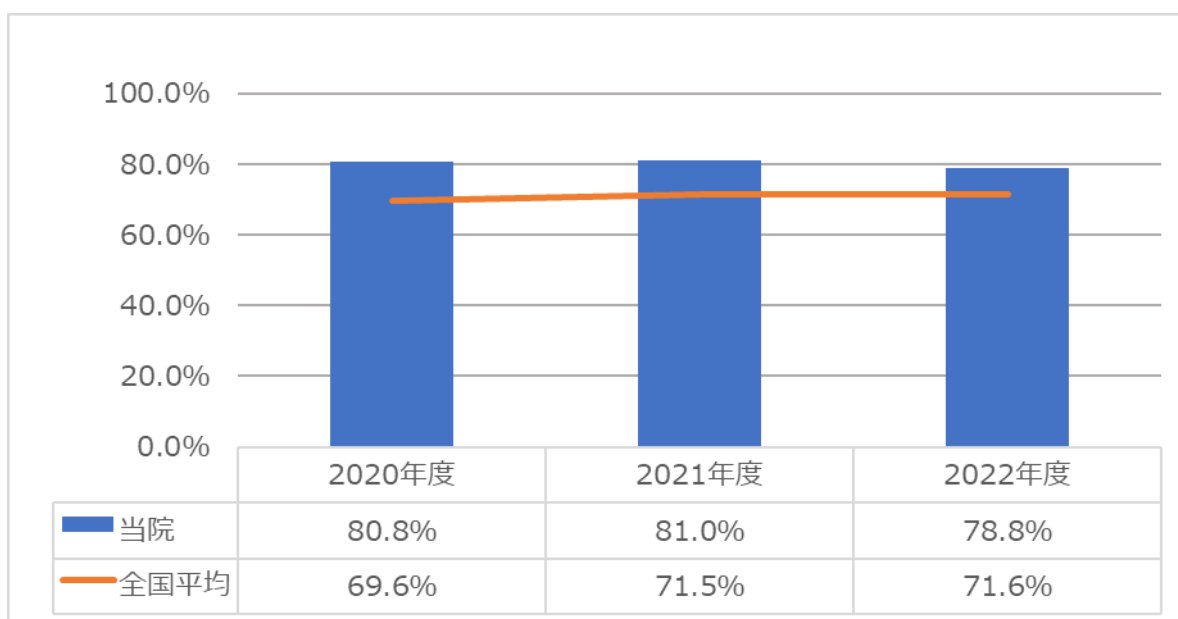


指標7 急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)患者に対する心臓リハビリ実施割合



<定義>

分子	:	分母のうち、心臓リハビリが実施された症例数
分母	:	急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)で入院した症例数
期間	:	2020年度～2022年度(1年毎に集計)
対象	:	上記期間の退院患者
値の解釈	:	高い方が望ましい

<解説>

運動療法を中心とした心臓リハビリテーションは急性心筋梗塞患者の二次予防に有効です。心不全による入院の頻度も低下し生命予後の改善効果も認められています。当院での施行率は78.8%と全国平均の71.6%と比して高い施行率を達成しています。

※ 本データは厚生労働省提出用のDPCデータを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院QIP事業】」における「医療の質の指標」の計測結果(事業に参加する全国の病院の平均値)を用いています。

【参考URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html> (当院のQIP参加について)

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/acts.html> (QIPにおける計測結果)